

第4学年1組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 令和元年6月12日（水）5校時（13：40～14：25） 4年1組教室

2. 議題 「4年1組運動会をしよう」

学級目標

思いやりのある4-1

（友だちに優しく・みんなで協力・笑顔たくさん）

3. 議題について

（1）児童の実態

明るく、素直な気持ちをもつ子が多い。新しい学級がスタートして2ヶ月が過ぎ、休み時間には校庭に出てドッジボールをしたり、教室で友だちと会話を楽しんだりそれぞれの興味に応じて楽しく過ごす姿を見ることができ、誰とでも仲よく接することができ、新しい担任にも積極的に話しかけるところから人と関わることが好きな子が多いと感じる。他方、進んで自分の考えを伝え友だちの意見につなげて発言することは少なく、4月から相手の話を聴くことや相手に対して相槌をうつことを大切にしている。

（2）これまでの学級活動の取り組み

2017年（平成29年）度からの校内研究における学級活動の積み重ねからか、当番活動と係活動の違いを正しく理解していたり、学級目標の必要性を感じたりしている。4月になり行った保護者アンケートの結果や担任の学級への思いを子どもたちに伝えた上で、どのような4年生となりたいかについて話し合った。そして、「相手の気持ちを考えた行動ができるようになる。」という考えに賛成する意見が集まり、これを丁寧と考え共通理解していきながら学級目標を「思いやりのある4-1」とし、「友だちに優しく」「みんなで協力」「笑顔たくさん」は特に意識するキーワードとした。最後に、この学級目標に30人の仲間に向かっていくことを確認することができた。

4年生までに学級活動（1）のいわゆる学級会をどの子も経験している。この経験により、多くの子は学級会の基本的な進め方を理解している。しかし、学級間で話し合いの進め方やグッズ使用の違いが多少あった。そこで、第1回学級活動はオリエンテーションを兼ねて担任が司会グループの全ての役を務めながら学級活動の行い方を再確認した。第2回学級会では、議題を「みんなで仲良くなるろう集会をしよう」として転入生の自己紹介の意味も含めた集会を行った。第3回学級会では、議題を「クラスのマスコットキャラクターを考えよう」として学級目標をイメージした学級マスコットキャラクターを考えた。集まったキャラクターのどれもよいものだったが、誰もが描けるものにするという話し合いのめあてを大切に合意形成を行うことができた。

（3）議題選定の理由

今年度の運動会は、ゴールデンウィークや学校行事の関係で例年よりも遅い6月1日に行うことになった。4年生から応援団や高学年リレーに参加をするので、ゴールデンウィーク前に行った結団式から数えると約1ヶ月間は学級の友だちと遊んだり係活動を行ったりする時間をもつことができなかった。また、本校は4色の運動会でクラスの全員が4色に分かれて運動会に参加をした。学級マスコットキャラクター「きょうりよくじら」が示すよう、全員で協力した学校行事にすることはできなかった。そこで、全員の仲間が協力してできる運動会を行いたいという議題が寄せられた。この他にも寄せられた議題もあったが、時期的なことを考えると今回は先日終えた運動会をクラスで行うことが学級の子どもの気持ちに合っていると考え本議題を選定した。

（4）本実践で大切にしたいこと

本実践は、4回目の学級会である。司会グループを中心に話し合いを少しずつ主体的に進められるようにし、「自分たちでできる」という自信をもてるようにしたい。そのために、事前の準備をより丁寧に行い、全員の共通理解がある学級会を行えるよう、これまでも使用してきた各種グッズやカードを積極的に使用していきたい。また、今までは時間内に合意形成を行うために最終的に出ている意見を合体させることが多かったが、実は合体することで実践が難しくなることを経験してきた。安易な合意形成とならず、みんなが納得して決定したことを気持ちよく受け入れられるような合意形成を目指したい。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方について理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月4日までに	・議題箱に「運動会をしたい」「スイカ割りをしたい」「お別れ会をしたい」などの思いが寄せられる。	○事前に議題となるものの例を示したり、児童のつぶやきを拾ったりして議題への意識づけをしておく。 ☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月5日 休み時間	・寄せられた議題から議題を選ぶ。	○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選ぼうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月6日 休み時間	・提案者を含めた計画委員会で話し合いのめあて、学級会の進め方や役割分担について話し合う。	○学級会の日時を伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを計画委員会のメンバーで確認をする。 ○それぞれの役割や話し合いの流れをイメージできるように「キャリア在り方生き方ノート」を活用する。 ☆話し合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
6月7日 朝の会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。	○伝え方について事前に確認することで、学級全体の意欲を引き出せるような伝え方ができるようにする。 ☆議題に対して関心を持ち、話し合いの見通しをもっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月7日 宿題	・学級会シートに自分の考えを記入する。	○柱①の「何をするか」について学級会シートに自分の考えを書くように伝える。このとき、話し合いのめあてを意識するようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月10日 11日 中休み	・出された意見を整理しながら、学級会の進め方について最終確認をする。	○計画委員で一人一人の意見を確認しながら、話し合いの流れを予想したり、時間配分を予想したりして、司会グループが落ち着いて学級会を運営できるように一緒に準備を進める。 ☆計画委員の運営や話し合い活動計画について考え、準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい 楽しい学級生活をつくるために、友達の思いを受け入れながら1組のみんなで協力して行える運動会の内容や計画を考えることができるようにする。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 計画委員 (司会グループ) の紹介</p> <p>3. 議題の確認 「4年1組運動会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「運動会に向けてみんなとても忙しく準備をしてきたので、みんなで何かをやる時間がなかった。運動会は、みんな楽しむことができた。今度は、クラスを1つにして協力した運動会を行うことで、みんなの仲が深まり、学級目標にあるように、みんなの笑顔がたくさん1組になるから。」</p> <p>5. めあての確認 「全員が協力してできる4年1組運動会をしよう」</p> <p>6. 決まっていることの確認 ・日時 6月21日 (金) 5校時 ・場所 校庭 ・プログラムは、板書の通り</p> <p>7. 話し合い 柱①「何の種目にするか」 (何をするか)</p> <p>柱②「決まった種目を協力してやるための工夫」 (どのようにするか)</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 先生の話</p> <p>10. ふり返り</p> <p>11. 終わりの言葉</p>	<p>○座席は、扇形にして、互いの顔を見ながら話し合いが行えるようにする。</p> <p>○司会進行は、進行表や「キャリア在り方生き方ノート」を活用しながら進めて行くよう助言する。</p> <p>○提案者に対して、どのような気持ちで本議題を提案したかを自分の言葉で伝えることができるよう事前に指導しておく。</p> <p>○話し合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声をかける。</p> <p>○事前に、計画委員会を中心にプログラムの概要を決めておくことで、話し合いの内容が明確になるようにする。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行き詰まってしまった時には助言する。</p> <p>○友達の思いを想像し、そこに寄り添って聞こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、本時や事後の活動などに生かせるようにする。</p> <p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考え、意見を言ったり聞いたりしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて賞賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p> <p>○自分たちのこととして話し合ったり、実践にむけてどのような思いになったりしているかについてふり返るよう助言する。</p>

③板書計画

第4回 学級会

はじめの言葉

司会グループの紹介

議「4年1組運動会をしよう」

提案理由

「運動会に向けてみんなとても忙しく準備をしてきたので、みんなで何かをやる時間がなかった。運動会は、みんな楽しむことができた。今度は、クラスを1つにして協力した運動会を行うことで、みんなの仲が深まり、学級目標にあるように、みんなの笑顔がたくさん1組になるから。」

話し合いのめあて

「全員が協力してできる4年1組運動会をしよう」

話し合い

柱①「何の種目にするか」 (何をするか)

○

○

○

柱②「決まった種目を協力してやるための工夫」 (どのようにするか)

○

○

○

決まったことの確認

先生の話

ふり返り

終わりの言葉

決まっていること

- ・ 6月21日 5校時
- ・ 開会式から閉会式までを行う

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月13日 朝の時間	・ 役割分担をする。	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 ☆必要な役割分担を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月13日～ 休み時間	・ 役割分担にもとづいて準備をする。	○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆決まった役割の準備を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月21日 5校時	・ 「4年1組運動会」を行う。	○安全に行えるよう見守り、必要に応じて助言する。 ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、自分たちでつくることができたことを実感することができるようにする。 ☆何のための集会なのかを理解し、友達と協力して活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月21日 帰りの会	・ 実践後のふり返りを学級会シートに書く。	○話し合いから実践までの流れの中で自分や自分たちにできたこと、頑張れたことなどプラスの面を大切にふり返るよう助言する。 ○次にどんなことをしたいか、また今回の反省をどう次に活かしていきたいかについても書くよう助言する。 ☆活動に対する自分の取り組みや、学級全体としての取り組みを振り返り、みんなで集会をつくる意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)